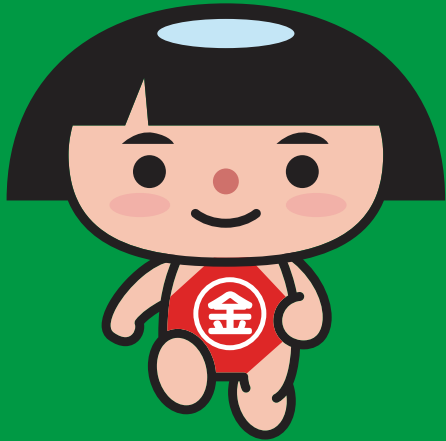




県広報キャラクター



かながわキンタロウ

かながわ ブランド デザイン

評価報告書2012(概要版)

県では、総合計画「かながわブランドデザイン」を着実に推進し、進行管理を行っていくため、総合計画審議会による政策評価を行っています。

このリーフレットは、2012年度の政策評価の結果を整理した「かながわブランドデザイン評価報告書2012」の概要版です。「かながわブランドデザイン実施計画 プロジェクト編」に掲げた各プロジェクトの主な取り組みや評価などを掲載しています。

県の施策の全体や評価の詳細については「かながわブランドデザイン」及び「かながわブランドデザイン 評価報告書2012」のホームページをご覧ください。また、県政情報センター、各地域県政情報コーナーにおいて冊子としても閲覧できます。

皆様からのご意見・ご提案をお待ちしています。

(ホームページへのアクセスは裏面を参照ください)



● 「かながわグランドデザイン」の進行管理

🌱 「かながわグランドデザイン」

県では、2011年3月に発生した東日本大震災及び福島第一原子力発電所の事故の影響などを踏まえて総合計画の見直しを行い、「かながわグランドデザイン」の「基本構想」と「実施計画」をとりまとめました。



基本構想



実施計画
プロジェクト編



実施計画
主要施策・計画推進編

🌱 プロジェクト

実施計画に掲げられているプロジェクトは、先進性や発展性を持った重点施策を分野横断的にとりまとめたものです。政策のまとめりにごとに6つの柱を立て、27のプロジェクトが位置づけられています。これらのプロジェクトが政策評価の対象となっています。

柱Ⅰ	神奈川からのエネルギー政策の転換	プロジェクト1～2
柱Ⅱ	災害に強く安全で安心してらせるまちづくり	プロジェクト3～5
柱Ⅲ	いのちが輝き誰もが自分らしくらせる社会づくり	プロジェクト6～12
柱Ⅳ	次世代を担う心豊かな人づくり	プロジェクト13～15
柱Ⅴ	人を引きつける魅力ある地域づくり	プロジェクト16～22
柱Ⅵ	神奈川のポテンシャルを生かした活力創出	プロジェクト23～27

🌱 プロジェクトの評価区分別一覧

プロジェクト全体の評価		該当プロジェクト数
	プロジェクト全体の進捗状況が順調	3
	プロジェクト全体の進捗状況が概ね順調	22
	プロジェクト全体の進捗状況がやや遅れている	2
	プロジェクト全体の進捗状況が遅れている	0

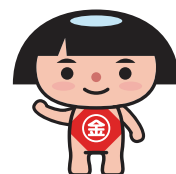
🌱 総合計画審議会の評価（要旨）

2012年度は、計画1年目としては、概ね順調に進捗していると評価します。

また、今後の取組みにあたり留意すべき課題を該当するプロジェクトごとに指摘しました。

なお、こうした課題への対応にあたっては、多様な主体との連携や事業実施上の工夫を一層進めていただくことはもちろん、複数の部局による一体的な取組みや施策同士の組み合わせなど横断的かつ集中的な対応を図り、スピード感を持って解決につなげられることを期待します。

委員から
このような意見を
いただきました








●各プロジェクトの主な取組みと評価

凡例

プロジェクトの柱ごとに色分けされています。

▶プロジェクトの全体の評価を
かながわキントロウの数で示しています。

柱番号	柱	柱の名称
	PJ○	プロジェクトの名称 
プロジェクト番号		2012年度の主な取組み 取組みがやや遅れているプロジェクトについての課題認識

	順調
	概ね順調
	やや遅れている
	遅れている

柱Ⅰ 神奈川からのエネルギー政策の転換

PJ1 かながわスマートエネルギー構想の推進

- 太陽光発電など再生可能エネルギー等の導入促進
—県有施設の「屋根貸し」による太陽光発電事業の実施、メガソーラーの整備や誘致
 - 省エネによる電力需要の縮減
—NPOと連携した節電相談、省エネ機器の貸出など
 - 電気自動車(EV)の活用など蓄エネによる電力需要の平準化
—太陽光発電・蓄電池・EVを組み合わせたシステムの実証試験
 - エコタウンの整備推進
—環境配慮型街づくりの提案が採択された民間事業者に県企業庁所有地を売却
- 太陽光発電の2014年度の導入目標を達成するためには、2年間でさらに普及を加速化し、新たに約159万kWの導入が必要



PJ2 エネルギー関連産業の集積促進

- エネルギー関連企業の誘致
—「インベスト神奈川2ndステップ」の支援事業認定に係る投資額要件を他業種よりも引き上げる特例措置を設定
- エネルギー関連産業への参入促進
—中小規模の工場に適した技術の開発などについて、企業や大学などとの共同研究を実施
- エネルギー関連ベンチャーの事業化促進
—公募により採択されたプロジェクトについて、エネルギー関連産業の実務に精通した総合プランナーによる支援

柱Ⅱ 災害に強く安全で安心してくらせるまちづくり

PJ3 津波被害を軽減する対策の強化

- 津波に関する調査と対策の実施
—津波堆積物調査のための掘削調査を実施
- 津波避難施設などの整備・確保
—津波避難地や津波避難ビルの確保、津波避難タワーの設置
- 津波避難情報の提供・伝達の充実
—沿岸部の県立都市公園や県管理道路に海拔表示板を設置、津波監視カメラの設置、津波避難訓練やパネル展示などの実施

PJ4 大規模災害などに備える災害対応力の強化

- 災害に強いまちづくり
—橋りょうの耐震補強や総合的な治水対策を実施、急傾斜地崩壊危険区域における施設の整備など
- 災害時の即応体制の強化
—「災害時における神奈川県内の市町村の相互応援協定」運用マニュアルの作成
- 東日本大震災で顕在化した課題への対応
—地震災害対策推進条例の制定、地域防災計画などの修正

PJ5 犯罪や事故のない安全で安心なまちづくり

- 犯罪などの起きにくい環境づくり
—ピーガルクン子ども安全メールの発信、防犯教室の開催
- 県民に不安を与える犯罪の抑止・検挙及び交通事故の防止
—制服警察官による「見える・見せる・声かける」警察活動を推進
- 犯罪被害者などへの支援
—犯罪被害者などへの理解促進講座の実施



いのちが輝き誰もが自分らしくくらす社会づくり

PJ6 高齢者が生き生きとくらす社会づくり



- **地域包括ケア・認知症ケアの推進**
— 神奈川県版介護職員基礎研修、ファーストステップ研修の開催
- **高齢者が安心してくらすまちづくり**
— モデル地区を設定し、まちづくり計画の作成などを実施
- **高齢者の健康・生きがいづくり**
— 老人クラブによる一人ぐらしや病弱な高齢者の訪問



浦賀かもめ団地サロン

PJ7 県民が安心できる
保健・医療体制の整備



- **地域に根ざし開かれた医療の推進**
— 県内4医科大学の学生に対し、修学資金の貸付を実施
- **がん対策の総合的な推進**
— 企業と連携したがん検診受診促進のための研修会の開催
- **医食農同源など病気にならない取組みの推進**
— 「医食農同源かながわシンポジウム」の開催

PJ8 こころといのちを守る
しくみづくり



- **自殺対策の総合的な推進**
— 県、市町村、関係機関・団体でゲートキーパー養成研修を開催
- **精神科医療体制の整備・充実**
— 県立精神医療センター整備工事の着工

PJ9 障がい者の地域生活
を支えるしくみづくり



- **「すまい」の確保と福祉・医療サービスの充実**
— グループホームなどの職員の支援技術向上のための研修を実施
- **「いきがい」を高める社会参加や就労の支援**
— 休日開所事業の新設など、内容を拡充して補助を実施、県内8か所に設置したセンターで就労を支援
- **バリアフリー化の推進など「ささえあい」の環境づくり**
— 相談支援従事者の質の向上を図るスキルアップ研修を実施

PJ10 男女がお互いを尊重し
ともに活躍できる社会づくり



- **男女共同参画の推進**
— 管理職や審議会委員などをめざす人材育成のための講座の開催
- **男女がともに働きやすい環境づくり**
— ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた、中小企業などへのアドバイザー派遣
- **配偶者などからの暴力防止と被害者への支援**
— 相談、一時保護、自立支援の実施

PJ11 多文化共生の
地域社会づくり



- **外国籍県民がくらしやすい環境づくり**
— 多文化ソーシャルワーク講座の実施
- **神奈川でくらし学ぶ留学生への支援**
— 就職支援セミナーや企業見学会、会社説明会の実施
- **多文化理解の推進**
— 多文化共生イベント「あーすフェスタかながわ」などの開催

PJ12 健康で豊かな人生を築く
スポーツ振興



- **ライフステージに応じたスポーツ活動**
— 県民スポーツ週間において、小学生向けのスポーツ体験教室などを実施
- **誰もがスポーツに親しめるしくみ・場づくり**
— 総合型地域スポーツクラブ指導者のスキルアップ研修を実施



西湘バスケット体験



柱Ⅳ 次世代を担う心豊かな人づくり

PJ13 子ども・子育て応援社会の推進



- 安心して生み、育てるための医療体制の充実
—小児救急の輪番病院及び拠点病院の運営事業への支援
- 出産・育児を応援する環境づくり
—子育て支援に取り組む事業者「かながわ子育て応援団」の認証
- 働きながら子育てできる環境と子どもの居場所づくり
—安心こども基金の活用などによる認可保育所の定員増

PJ14 子どもの安心のための総合的な支援



- すべての子どものいのちを守る体制づくり
—「孤育て」防止のための関係機関連絡会議の開催
- 支援を必要とする子どもの育ちを保障するしくみづくり
—里親、児童福祉施設、相談機関の職員など、人材育成のための研修を実施
- 子ども・若者の社会的自立を支援するしくみづくり
—かながわ子ども・若者総合相談センターの設置



子ども・若者の社会的自立に向けた相談・支援

PJ15 明日のかながわを担う人づくり



- 一人ひとりの生きる力を高める学校教育
—総合職業技術校を活用した中学生、高校生へのキャリア教育の実施
- 障がいのある子どもたちを育む支援教育の推進
—横浜ひなたやま支援学校の整備、企業における生徒の体験実習
- 児童・生徒が学ぶ環境づくり
—かながわティーチャーズカレッジの実施



かながわティーチャーズカレッジ

柱Ⅴ 人を引きつける魅力ある地域づくり

PJ16 地域資源を活用したにぎわい拠点づくり



- 新たな観光の核づくり
—城ヶ島・三崎漁港周辺、大山、大磯の計3地域を認定
- 地域活性化に向けた拠点づくり
—湘南江の島、大涌谷の新たな魅力づくりの検討、支援

PJ18 文化芸術による心豊かな神奈川づくり



- 文化芸術によるにぎわいの創出
—「マグカル」ポータルサイト、フェイスブックの開設
- 地域における文化芸術活動への支援
—相模人形芝居や日本舞踊の伝統芸能ワークショップの開催



県民ホールでの上演「ハーメルンの笛吹き男」

PJ19 NPOの自立的活動と協働の推進



- ボランティア活動の充実に向けた支援
—寄附者が個人県民税の税制優遇を受けられるNPO法人の指定
- 多様な主体による新たな協働の推進
—企業とNPOのパートナーシップ支援事業の実施

PJ17 行ってみたい神奈川の観光魅力づくり



- 観光客の誘客促進
—外国語版観光ホームページのスマートフォン対応による情報発信の充実
- 観光まちづくり人材の育成や観光関連産業の活性化
—地域の魅力づくりを担う人材を育成する「観光まちづくり塾」の開催、かながわ再発見キャンペーンの実施
- 商店街を核とした地域の魅力づくり
—商店街の活性化を意欲的に進める商店街の地域ブランドづくりへの支援



湯河原駅前通り明店街の「ぶらん市」

PJ20 「水のさとかながわ」づくり



- 水を育み、守る取組みの推進
—キックオフ・シンポジウムの開催
- 水を活かす取組みの推進
—「水の観光」キャンペーンでのツアーなどの実施
- 水源の保全・再生
—水源の森林エリア私有林の公的管理・支援の実施

神奈川のポテンシャルを生かした活力創出

PJ23 競争力の高い産業の創出・育成

- 県内企業の技術高度化・国際化支援
 - 一産業技術センターによる技術相談など
- 成長分野の起業促進
 - 一有望な起業プロジェクトの認定、支援
- 企業誘致による研究開発機能の集積促進
 - 一「インベスト神奈川2ndステップ」の支援事業認定に係る投資額要件を引き下げ、企業誘致を促進
- 科学技術の重点的研究の推進
 - 一神奈川科学技術アカデミー (KAST) や県試験研究機関において、大学や企業などと連携し研究を実施

PJ25 神奈川を世界にアピールする国際戦略

- 神奈川の特徴を生かした国際交流の推進
 - 一「かながわ国際ファンクラブ」を結成し、KANAFAN交流会などを開催
- 県内企業の海外展開支援と外国企業の誘致
 - 一民間金融機関などと「県内中小企業の海外展開支援に関する協定」を締結
- 外国人観光客の誘客促進
 - 一海外での観光展、海外からの旅行会社、メディアなどの招聘
- 国際戦略総合特区を活用した拠点形成
 - 一殿町区域で「川崎生命科学・環境研究センター (LiSE (ライズ))」が開設

PJ24 産業人材の育成と就業支援の充実

- 企業や求職者のニーズに応じた人材育成
 - 一職業技術校における求職者などの職業能力開発や産業技術短期大学校における実践技術者の育成
- 就業支援の充実
 - 一「かながわ若者就職支援センター」や「シニア・ジョブスタイル・かながわ」などにおけるキャリアカウンセリング
- ワーク・ライフ・バランスの推進
 - 一ワーキングマザー両立応援カウンセリング



西部総合職業技術校
(愛称：かなテクカレッジ西部)

PJ21 神奈川の自然環境の保全と活用

- 丹沢大山の自然再生と活用
 - 一土壌流出防止対策やニホンジカの保護管理などの実施
- 里地里山の保全と活用
 - 一地域選定と団体認定の実施、保全活動の支援
- 都市のみどりの保全と活用
 - 一小網代の森の木道設置、県立都市公園などの整備、三浦半島地域への国営公園誘致活動の実施

里地里山の保全に取り組む団体をより増やせるよう、地域の合意形成を促すことが必要

PJ22 持続可能な環境配慮型社会づくり

- 地球温暖化対策の推進
 - 一温暖化対策計画書制度による温暖化対策の推進
- 資源循環の推進
 - 一かながわりサイクル製品の認定、公共工事における建設リサイクル資材の率先利用の取組みを推進
- 適正処理の推進
 - 一不法投棄監視パトロール、不法投棄物の撤去、建設発生土監視パトロールの実施

PJ26 神奈川の特徴を生かした農林水産業の展開

- 県民の求める「食」の提供の推進
 - 一県民ニーズに応じた生産を目指す「マッチング商談会」の開催
- 県産木材の有効活用の促進
 - 一高性能林業機械導入の助成などによる森林施業の効率化
- 水産資源の回復と有効利用の促進
 - 一つくり育てる漁業 (栽培漁業) の推進



かながわ農業アカデミーでの研修風景

PJ27 活力と魅力あふれるまちづくりと交通ネットワークの充実

- 交流と連携を支える道路網の整備
 - 一さがみ縦貫道路の一部区間開通 (海老名IC～相模原愛川IC、茅ヶ崎JCT～寒川北IC)
- 交流と連携を支える鉄道網の整備
 - 一神奈川東部方面線の整備促進、リニア中央新幹線の県内駅設置促進など
- 国際競争力の強化に向けた空港政策の充実
 - 一羽田空港の国際化を生かしたまちづくりの推進、空港周辺アクセスの整備促進
- 魅力あるまちづくりの推進
 - 一ツインシティの整備に向けて各種調査・設計を実施

▶▶▶ 「神奈川モデル」の取組状況

全国の先駆けとなる先進的な取組みである「神奈川モデル」の最新の取組状況は次のとおりです。2013年5月までの取組みを記載しています。



横浜栄高等学校に設置した太陽光発電設備

▶ かながわスマートエネルギー構想の推進

- 太陽光発電をリーズナブルな価格で安心して設置できるよう、全国初の取組みとして、「かながわソーラーバンクシステム」を運用
- 全国に先駆けて、県有施設の「屋根貸し」による太陽光発電事業を実施
- 水素エネルギーの普及に向けてキックオフイベントを2013年4月19日に開催

▶ ビッグレスキューかながわ

- 大規模災害時の医療支援体制を強化するため、自衛隊、災害派遣医療チーム、自主防災組織など約3,000人が参加して訓練を実施



自衛隊のヘリコプターによる搬送訓練



県立看護専門学校での実習

▶ 医療のグランドデザイン

- 「いのち輝くマグネット神奈川」を具体化するため、都道府県初の医療全般にわたるグランドデザインを2012年5月に策定
- 准看護師養成から看護師養成への移行の方向性を決定
- 神奈川マイカルテの推進に向け、2013年5月からお薬手帳の電子化の実証実験を開始



花菜ガーデンで開催された親子料理教室

▶ 医食農同源の推進

- 「医食農同源かながわシンポジウム」、医食農同源研究会と同部会を開催
- 県内産農産物の中で、生活習慣病予防に役立つ食材の機能性を研究
- 大学や料理研究者によるレシピ開発
- 病気になるない「未病を治す取組み」の実現のため、米国において本県の取組みをPR

▶ 「いのちの授業」

- 学校でのいのちの授業の取組みを紹介するHP「いのちの授業見つけた」を開設し、実践事例や子どもたちのメッセージを掲載
- 中学生・高校生を対象とした「いのちの大切さを学ぶ教室」を開催
- 犯罪被害者の手記をもとにしたアニメーションDVDを作成、手記の執筆者による講演会を開催



いのちの授業



大山阿夫利神社

▶ にぎわい拠点づくり

- 新たな観光の核づくりの構想に、城ヶ島・三崎漁港周辺地域、大山地域、大磯地域を認定
- 江の島島内の渋滞対策手法の検討など利便性の向上に向けた取組みを実施



宮ヶ瀬湖畔園地 親水池

▶ 「水のさとかながわ」づくり

- 水の魅力を発信するキックオフ・シンポジウムや「水の観光」キャンペーン（「かながわの水の名産展」や「水の観光ツアー」など）を実施

▶ かながわ国際ファンクラブ

- 留学生を支援し、神奈川のファンを増やしていくため、「かながわ国際ファンクラブ」を結成し、ポータルサイトを開設
- 県内での就職を希望する留学生を支援するため、就職支援セミナーなどを実施
- かながわ県民センター2階に「かながわ国際ファンクラブ KANAFAN STATION」をオープン



かながわ国際ファンクラブ



京浜臨海部

▶ 京浜臨海部ライフイノベーション国際戦略総合特区の推進

- 国際戦略拠点形成に向け、殿町区域に「川崎生命科学・環境研究センター」が開設し、神奈川科学技術アカデミー(KAST)が研究拠点の一部を設置するとともに「国立医薬品食品衛生研究所」の移転が決定
- 「さがみロボット産業特区」(2013年2月に地域活性化総合特区に指定)と連携

「かながわグランドデザイン 評価報告書2012」に対する ご意見・ご提案をお寄せください

ご意見・ご提案は「[かながわグランドデザイン 評価報告書2012](#)」と明記して、
次のいずれかの方法でお寄せください。

手紙

■ 〒231-8588 神奈川県政策局政策部総合政策課（所在地は省略できます。）

※県の施設、市町村の窓口などにある「わたしの提案（神奈川県への提言）」の専用封筒をご利用いただくこともできます。

この封筒をご利用の際には、封筒のあて先欄に「政策局政策部総合政策課」と明記してください。

ファクシミリ

■ 045-210-8819

インター
ネット

■ 次の総合政策課のホームページのお問い合わせフォームをご利用いただけます。

<http://www.pref.kanagawa.jp/div/0102/>

● 「かながわグランドデザイン 評価報告書2012」に対する意見・提案

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

※ いただいたご意見・ご提案は、今後の県政運営の参考とさせていただきます。

この冊子の詳細や県の施策の全体については、次のホームページでもご覧になれます。

ホームページ
へのアクセス

「かながわグランドデザイン 評価報告書2012」

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f4895/p655537.html>

「かながわグランドデザイン」

<http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f4895/p434921.html>